



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 佐渡市両津総合体育館
 試合区分： 成年男子 1回戦
 開催期日： 2009年10月2日（金）
 開始時間： 11:00

GAME No. 1002A1

主審： 川端 孝博
 副審： 大倉 守正

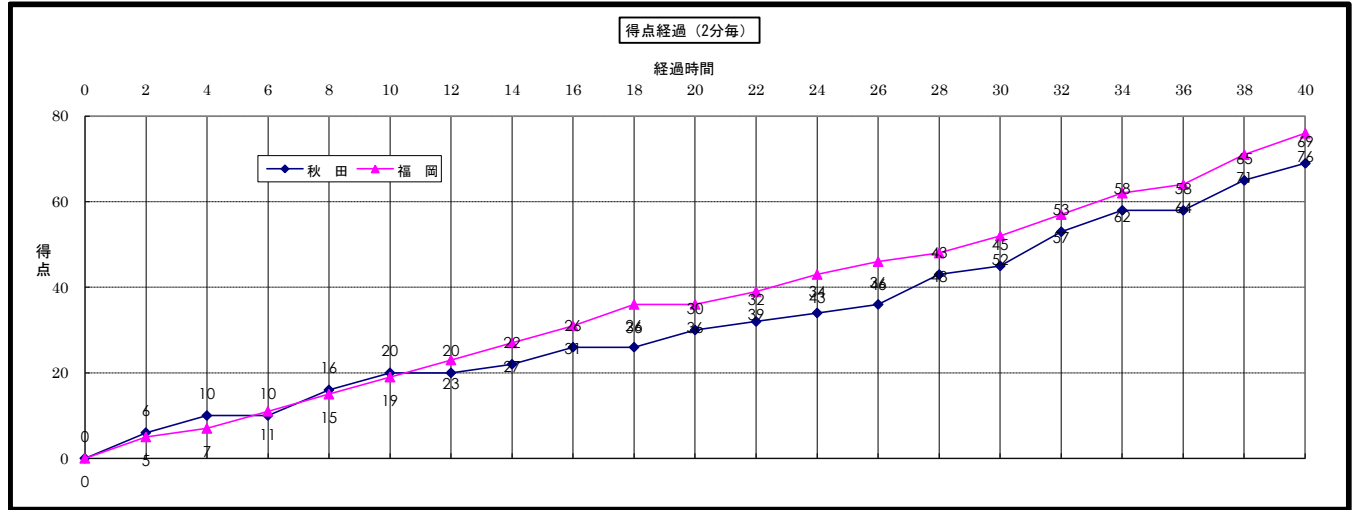
Team A 秋 田	●	20 -1st- 19 10 -2nd- 17 15 -3rd- 16 24 -4th- 24	○	Team B 福 岡
	69		76	

TEAM A		秋 田					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		田中 学	4	0	2	0	2
5		若月 徹	18	0	9	0	0
6		佐藤 哲朗	0	0	0	0	0
7		小野 弘樹	2	0	1	0	1
8	*	齊藤 直樹	2	0	1	0	1
9		一戸 祐也	7	1	2	0	0
10	*	高橋 純	12	0	5	2	2
11	*	佐々木 学	4	0	2	0	0
12	*	菊地 勇樹	15	5	0	0	4
13		村山 範行	—	—	—	—	—
14	*	石橋 拓	5	0	2	1	2
15		小納 真良	0	0	0	0	1
Coach		千田 裕之	—	—	—	—	0
TOTAL			69	6	24	3	13

TEAM B		福 岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		竹野 修平	2	0	1	0	1
5		廣田 祥吾	—	—	—	—	—
6	*	原 一希	6	0	3	0	4
7	*	西尾 晋太郎	8	0	4	0	1
8		上野 真一郎	—	—	—	—	—
9	*	野中 俊郎	3	1	0	0	2
10		篠原 達徳	0	0	0	0	1
11		中村 洋二	0	0	0	0	0
12		江藤 淳	—	—	—	—	—
13	*	村瀬 敦希	18	4	3	0	1
14		薦田 拓也	29	1	10	6	0
15	*	毛利 孝志	10	1	3	1	3
Coach		濱 賢次郎	—	—	—	—	0
TOTAL			76	7	24	7	13

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	13:44	—	22:42	39:01		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	19:42	—	27:08	39:51		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。秋田が#10高橋のシュートで先制。#11佐々木の速攻で4-0とする。福岡は#13村瀬の3Pシュートで反撃。その後は一進一退の攻防が続く。終始秋田がリードを保つが、残り15秒を切ったところで、福岡が#7西尾の速攻で逆転。しかし、終了間際、秋田は#10高橋のゴールで再逆転。20-19で第1クォーター終了。

2Q、開始早々、福岡がバスケットからの速攻で20-21と逆転。その後も得点を重ね差を広げる。20-27となったところで秋田がタイムアウト。引き気味のディフェンスに変え、福岡に傾きかけた流れを止める。福岡の厳しいディフェンスにインサイドを攻めきれない秋田は、#12菊地が3Pシュートを狙うが決まらない。30-36で前半終了。

3Q、交互に点を取り合う展開。残り3分、38-48となったところで、秋田はディフェンスをオールコートマンツーマンに変える。オールコートの強い当たりが福岡のミス誘う。スティールや相手のパスミス、トラベリングなどで得たチャンスを生かし、#5若月のゴールなどで、残り1分で45-48と3点差まで詰め寄る。しかし、福岡も粘りを見せ、2本のシュートを決め、45-52で最終クォーターへ。

4Q、福岡が#14薦田の3Pシュートで10点差とするが、秋田もすぐさま#12菊地の3Pなどで反撃。残り6分で、58-60と1ゴール差まで迫る。しかし、秋田は残り4分で得たフリースローを#12菊地が2本とも落とす。直後のスティールからの速攻のチャンスもキックボールのミスで、追いつく好機を逃してしまふ。福岡は#14薦田のドライブインなどで得点を伸ばし、残り1分を切ったからのフリースローも5本中4本を決め突き放す。69-76で、福岡が昨年の大分国体の雪辱を果たし、準々決勝へ進出する。

記載責任者	庄山 忠彦 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	------------	---------------